

小松市立学校PTA連合会

PTAだより

第72号

<市P連事務局>

〒923-0904 小松市小馬出町1番地

小松市教育センター内

TEL (0761) 23-2478

FAX (0761) 23-0902

E-MAIL pta@kec.hakusan.ed.jp

www.hakusan.ed.jp/~kcpta/

平成21年10月1日発行

市P連広報委員会

印刷：有限会社 斉藤印刷



「共に考えよう！今、私たちができる事」

感謝する気持ち・

生きる力を育むために

小松市立学校PTA連合会会長 西出 稔

皆様には日頃よりPTA活動に多大なるご支援ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、子ども達は、今学校で「生きる力」と言うことをいろんな形で学んでいます。「確かな学力」「豊かな心」「健全な体」、そして複雑化してきている社会に対して、社会の決まりや規範意識を自分の力で学ぶ事ができるように道徳教育も積極的に行われています。

この「生きる力」の大切さは、私たち大人も同様です。親として感情をコントロールする能力、子どもに対して我慢する能力、家庭でのコミュニケーション能力、子どもに自分の考えを言葉で伝える能力、良いこと悪い事の区別を教える能力、そして時として、子どもを遠くから見守り、支えてあげることではないでしょうか。私たちが子どもにとって何が大切なのか、子どもに対してはいけない事としなければいけない事を私たちは考え実行することが大事だと思います。

一方で、家庭だけで子供を守り育

てる事が難しくなってきたのも事実です。子供たちの健全な生活を守るため、地域でしなければいけない事、行政でできる事、そして我々自身がしなければいけない事、できる事を認識し、家庭・学校・地域のそれぞれの子供たちを育てると言う気持ちも大切です。

今年の重点活動でもあります「早起き朝ごはん運動」も子どもにだけ強いのではなく先ず私たち大人が行動しなければいけないし、「ケータイ問題」においても、利便性だけを追求するのではなく、本当に子どもにとって必要なかを保護者である大人が考え行動することが大切だと思います。そして、家庭だけでなく、地域に根ざした運動として小松市全体に広まり活動して行くことが大事なことだと信じます。

最後になりますが、地域の方々の暖かいご支援により、われわれの子が守られている事を十分認識し、素直に「感謝」の気持ちでいっぱいです。

夏休みのひと時



小松市立学校PTA連合会

顧問 茗荷谷 豊

お盆に、息子と2人で輪島へイカダ釣りに行ってきました。夜に車で出発し、車中泊をする所を探し、結局輪島駅に車を停めると、結構多くの車がいて驚きました。なかなか寝付けませんでしたが、朝日と共に目が覚め、輪島港に向かいました。船に乗ってイカダに着き先客に挨拶をし、早速釣り始めるといきなり息子の竿にヒラメがかかりました。その後もサヨリ、アジ、コゾクラなどたくさん釣れ、夕方帰ってきました。

釣ってきた魚をうまい、うまいと食べる息子の姿を見ながら、普段自分の忙しさにかまけて、じっくりと話す事もなかったのですが、普段聞いていなかった学校や部活、友達の事などを話したり、また時折自分が教えられる事など子どもの成長ぶりに驚かせられ、私達にとって大変よいひと時を過ごせたと思いました。私達が子どもの頃そうだったように、子どもは成長するにしたがつて自立心が育つと共に少しずつ私達から離れていきます。大切なことは、どれだけ子どもが成長しても、常に子どもの思いや悩みに耳を傾け、温かく見守りながら、子ども達が私達のもとをしっかりと羽ばたいていくことだと思います。

犬丸小学校

研究大会を終えて

犬丸小学校 校下育友会会長

葛西 正貫

犬丸小学校校下育成委員会では「育てよう思いやりの心 深めよう家族の絆」をテーマとし、研究を行いました。委員会活動を中心とした発表となりましたが、委員会活動についてはどの学校のPTAでも行っているもので一つ間違うと単に活動報告になりかねません。しかし、総務委員会及び学級委員会では「深めよう家族の絆」、広報委員会は「広報がつなぐ学校・家庭・地域の絆」、愛護委員会は「親子で培う奉仕の心」と思いやりの心、保健委員会は「育てよう思いやりの心」と各委員会以前年の育友会長が掲げたテーマに沿い、それぞれにテーマと目的を設定することで斬新な意見と様々な工夫がみられ、結果として満足のいく成果が上げられたのではないかと思っています。今年度はいぬまるっこサポート会が組織されたこともあり、地域全体で子育てに励む犬丸校下の絆の深さと犬丸地域の特色も知っていただくこともできたのではないかと

と思います。

私個人の感想ですが、研究発表を通して時間の有効な活用方法、子育てに対する地域の重要性、そして子どもに対する教育は親が熱心に取り組む姿を見せることが一番であることなど多くのことを学ぶことができ結果的にとても有意義なものとなりました。

次回指定校となるのは約10年後と期間が空きますが、発表の中でも述べた地域・学校・保護者がひとつの家族として絆を深め、育友会活動に全力で取り組む姿勢は今後も継続していく所存です。



PTA研究大会

◆日時：平成21年8月2日(日)
◆場所：こまつドーム

◇小松市教育委員会表彰状受賞者

茗荷谷 豊
織田 由起子

◇小松市立学校PTA連合会会長
感謝状受賞者

茗荷谷 豊 (前会長)



〈地域功労賞 個人〉

- ・九十 作蔵氏「安全推進活動・地域の先生」・・・西尾小学校
- ・土井 克彦氏「地域の先生」・・・・・・・・・・国府小学校

〈地域功労賞 団体〉

- ・JA小松市青壮年部 瀬谷支部「地域の先生」・・・波佐谷小学校

荒屋小学校

発表による緊張感

荒屋小学校育友会会長

吉田 成豊

PTAと云えば「毎年同じ事の繰り返しで、其々が嫌々始まり去年と似た様な事を引き継ぐ事が精一杯で、ちよつと面白くなったトコで任期を終えてしまうのが現実なのか？」と疑問を感じていました。

今回の研究発表は、自分のイメージを払拭させてくれる位インパクトがありましたね。当たり前の事なのかも知れませんが、まず各委員会が同じ目標に向かって活動をする事でした。情報や行動が其々リンクしてくるから普通に楽しかったですね。一番大きかったのは、今年度役員の半分は新メンバーなので前年度役員だった方々にそのまま実行委員のメンバーとして残って頂いたのがもう最高ッス。本当に有難うございました。また各委員会が発表の為の新たな活動をした訳では無く、「毎年活動してた事をそのまま発表出来たのが凄

丸内中学校

研究発表を終えて

丸内中学校 PTA会長

長田 竜太

構想から2年間に渡って作り上げてきた研究発表を終えて今思うことは、PTA活動とは親のオモイを見えるカタチにすることであると改めて感じております。今回の研究発表のテーマである「コミュニケーションのあり方」は、今も現実問題として様々な課題を私達に投げかけています。親子関係はもちろん、学校と保護者、学校と地域といった子供達



を取りまく人間関係が、ややもすると希薄になりがちな現代社会において人と人が支え合うこと、助け合うこと、信頼し合うことの重要性を我々自らがPTA活動で示すことが大切であることを研究発表を作り上げていく過程で多く学びました。今回の研究において「チェインブック」や「いのちの授業」といったPTAの新たな試みでは、想像を超える沢山の反応を頂くことができました。このような見えるカタチが、その一人一人の親のオモイが、子供達の生きる力を育み、親育ちの大きな柱になることを確信しております。

最後に丸内中学校PTA役員一同の皆さんのご協力のもと研究発表を終えることが出来ましたこと改めて心より感謝申し上げます。

石川県PTA地区別研究指定発表会

第52回 小松市

石川県PTA地区別研究指定発表会、第52回小松市PTA研究大会がこまつドームに於いて、和田慎司市長をはじめたくさんのご来賓をお迎えし、盛大に開催されました。今年は、丸内中学校PTA、荒屋小学校教育友会、犬丸小学校校下育友会の3校の発表でしたが、それぞれが個性あふれ、特色ある素晴らしい発表でした。

研究大会の後半は、「子どもが求める大人の関わり」～チャイルドラインの学びから～を演題に、子どもの気持ちを受けとめ、子どもの声を子どもの目線に立って活躍されている、子ども夢フォーラム代表の高木眞理子氏の講演がありました。また、開会式において日頃PTA活動や子ども達の健全育成にご尽力されている方への表彰も行われました。



たかぎ まりこ
講師：高木眞理子氏
子ども夢フォーラム代表
石川県金沢市在住

い事だ」と後で改めて思いました。そしてまた新たな疑問。「毎年活動してる事が一緒なのに？」要素は様々で自分なりの見解で申し訳ないのですが、まず一つの目標またはテーマに向かつて其々がPTA活動するか否か、そして不可欠なのが『心地のいい緊張感』による真剣さでこれほど大きな違いがあるのかと痛感しました。

一緒に向かう事で一体感が、真剣にやることで感動が生まれました。

黙って息を潜めてその場をやり過ごすよりホントやったモン勝ちやね。





母親委員会のページ

第1回母親委員会

日時：平成21年5月30日(土)

場所：ホテルサンルート小松



◇ 平成21年度 母親委員会事業計画(案)の説明が行われました。◇



■ 西出 稔会長からのご挨拶



■ 黄木幸代委員長からのご挨拶

ほとんどの方達は初対面で、どことなく緊張した面持ちでの自己紹介。時間がたつにつれ会話も弾み今後の活動の役割分担もスムーズに決まりました。
皆さん一年間協力して充実した活動を行っていきましょう。



日々の生活から 教わったこと



小中 笑子

母親委員会担当校長
(那谷小学校)

夏近くの農園には子どもたちの植えた作物が育ち、中でもきゅうりは、葉も茎も見事な緑色でしたが、うまくつるを絡ませられない様子でした。気になつて後で見に行くと、ちよつと紐で結わえて「手」をしてあり、始めからそうだったかのように、すうつとまっすぐに伸びていました。

必要なときに、丁度よく差し延べられた手は、生長につながるものだという思いを深くしました。そんなことがあつてしばらくしてからのこと。みんなの前で感想を述べる機会になかなか言えない子どもがいました。担任の先生がその子の背に優しく手を置くと、その子は話し始め、みんなから多くの拍手をもらいました。その表情は、とても満足そうでした。

植物も子どもも、様子や状況に合わせて適切な手立てを講ずることが成長を促します。「よくみる」として、「自ら伸びていこう」とする力を与えることが大事だと改めて思いました。そのときには、タイミングが大切です。

ケータイのこと、生活習慣のこと、コミュニケーション力のことなど、課題は様々にありますが、みんなの愛情深い手によって、子どもの健やかな成長が育まれるものと信じています。思いはきつと通じます。

読んでみまっし!!

「ケータイ・ネット時代」の子育て論 時代の波に流されない力

尾木直樹／著 ●
出版社名／新日本出版社 ●

本書は家族、学校社会の中でとりまくインターネットサイトのトラブル・事件を取り上げこれから豊かな人間関係を築き過ぎていく為の一冊です。



家庭のパソコン&ケータイ インターネット安全ガイド

● 川名和子／著・絵
● 出版社名／秀和システム



現代社会においてインターネット・パソコン・ケータイは不可欠です。正しいネットの扱い方やトラブル対処など子供に教えたい、伝えたい事が満載です。

第2回母親委員会

日時:平成21年6月26日(金)
場所:第一コミュニティーセンター

☆講演「ケータイを考える」 矢原 珠美子氏(前小松市教育長)



石川県では全国で一番先進的に携帯問題に取り組んでいるそうです。

講演後、各グループに分かれ活発な話し合いを行いました。

テーマを設定し報告書作成、発表などが行われる予定です。

・・・講演後の感想より・・・

今年度 広報は私達が担当します。
宜しくお願いします。

林 和美・橋本 恵美
福井 幸子・馬場 優子

- ☆ 子供達の実態やケータイ、インターネットについて知る必要性を感じた。
- ☆ 私達がすぐに出来る事は会話をすることだと思います。
- ☆ 溢れる情報の中にいる子供を守るのは親や地域なのですね。
- ☆ 大人がケータイの危険性を知り我が子を守る為の認識をしっかりと持つべきだと感じました。
- ☆ 携帯の良い所と悪い所を把握して親子で話をし携帯を持たせたいと思います。

子どもたちの健全育成のために

特別委員会 委員長 吉村 範明

「早寝早起き朝ごはん運動」も本年度で3年目を向かえ、早寝早起きと朝ごはんを食べることの重要性に対して子どもたちの認識度も高まってきたものと思っております。本年度も昨年同様、子どもたちには休みの間、漫然な日々を過ごさないでほしいとの思いから、夏休みの後半の一週間に生活習慣チェックシートを付けてもらい、目的意識を持つて行動することでの計画性と実行力を身に付けていただき、後半にこれまでの日々を振り返ることによって、確実意識を持ち反省することでの今後の改善策を見出す力を付けていた

ただればと考えております。そして、昨年度開催させていただきまして「早寝早起き朝ごはん運動小松市民大会」を今年度も開催させていただきます。本年度は、食育の観点から、子ども番組等にも出演されている料理家の森野熊八氏をお迎えし、ご講演をいただき、食育の重要性等をお聞きし、子どもたちの成長の一助となればと考えておりますので、皆様お誘い併せの上ご来場賜りますようお願い申し上げます。また、本年度から携帯電話の諸問題に対して保護者の皆様を抑止力を持つて行うこととなりました。事業内容は、小松市教育センターのご協力の下、小松市の全小松市立学校の保護者を対象にケータイ問題に関する講演会を行ない、保護者の皆様に、現状のインターネットの一部やメール、プロフィール、サイト等が子どもたちに何処まで悪影響を及ぼしてい

るかを判りやすく且つ実際に体感して頂くもので、本当に危険な要素が多く存在していることが認識できる講演会です。

そして、この講演会を通じ、保護者の方々が、これまで以上にケータイに対し強い関心を持ち、隠れた恐怖から子どもたちを守って頂きたいと思っております。

これまでは各学校独自で事業展開をされていましたが、これからは市のPTA全体で幅広く周知させていただきます。また、本年度講演会に参加出来なかった保護者の方々にもご参加いただいた方が、口伝えで広めていただき、実態の把握と危険に對しての抑止力を持つていただきたいと思ひます。この講演会終了後、参加者にアンケートを記入していただいておりますが、反響が大きく、「家族で話し合つてみます」や「ケータイは持たせません」等の回答も多くいただいております。今一度、大変便利なツールではありますが、危険性を秘めていることを、家族や保護者同士で話し合つていただきたいと思ひます。

最後になりますが、関係各位をはじめとする多くの皆様のご厚情に感謝申し上げます。参加頂いた皆さんありがとうございました。

第1回会長研修会を終えて

第1回会長研修会が、6月12日第一地区コミュニティセンターにて行われました。今年度初めての研修会ということもあり、各単P会長も緊張感の中、熱心に研修会に参加を頂きました。

昨年に引き続き、小松市の教育行政のトップである、吉田洋三小松市教育長にご講演をお願いしました。講演のテーマを「教育の現状と課題」とし今日の教育的課題である、子供たちの自立への道という、これから求められる児童・生徒たちの人間像についてお話し頂きました。講演の中で子供たちが18歳になるまでに、自立心を持った一人の人間として、成長させる必要性を説かれていました。子どもの自立心を育てる教育とは、自らが学び、自らが考える力を有した学びの育成（学）の育成。豊かな人間性を有し、他人の立場を考える子の育成（心の自立）。遅く生きるための健康や体力を有する健康で明るい子の育成（体の自立）を目指すことが子供たちの「生きる力」を育むことが出来るというお話をされてました。

また、市P連で取り組んでいる早寝・早起き・朝ごはん運動についても、子供たちの学力や体力をアップさせるために大変有効な手段であると評価いただきました。

吉田教育長には予定時間を忘れてしまうほど、熱心にご講演をいただきました。各単P会長もこれからのPTA活動に向けて大変参考になったのではないかと思います。参加頂いた皆さんありがとうございました。

「早寝早起き朝ごはん運動」小松市民大会

家族みんなで
お越しください

日時 平成21年11月29日(日)
開演/13:30

場所 小松市民センター

講師 森野 熊八 氏
料理人・タレント

表彰 子どもたちから募った
作品や地域活動の表彰



「人呼んで 歌う料理人」としてテレビでおなじみの森野熊八氏をお迎えし、食育に関してご講演をいただきます。

STOP ケータイ



ケータイの隠れた危険から
あなたは子どもを守れますか?

今年度、小松市立学校PTA連合会では携帯電話にまつる危険から子どもを守るため小松市教育委員会と連携し、保護者を対象とした講演会の講師を各単Pへ派遣させていただきます。

小松市立学校PTA連合会
〒923-0004 小松市小松出町1丁目4番地 小松市教育センター2F
FAX 0761123-6363



親子体験バス

平成21年8月9日(日)



牧歌の里での動物達との

ふれあい体験と白川郷合掌集落

豊かな心を育む委員会 委員長 新田 寛之

昨年同様、当委員会では親子のふれあいを深めていただくために親子体験バスを企画しました。8月9日(日)、天候の心配される中、73名の親子の方々に参加いただき、岐阜県郡上市の牧歌の里と白川郷の合掌集落へ出発しました。行きのバスの中では、ボランティア(サントママ)さん達による絵本の読み聞かせや紙芝居、ハンドベルの演奏をしてみんなで盛り上がり、2番目の目的地でもある白川郷合掌集落のDVDを見て、世界遺産の予備知識を勉強しました。

牧歌の里では、馬や羊などに直接触ったりエサやりをしたり、また乗馬体験や乳搾り、魚のつかみどりなど普段では体験できない動物達とのふれあいを存分に感じることができました。また手作り体験工房では、自分でオリジナルの小物を作ったりもしました。お昼は、バーベキュー広場でみんな楽しくおいしい焼き肉を食べました。あつという間の4時間を楽しく過ごすことができました。

午後からは、世界遺産にも登録されている白川郷合掌集落に行きました。まるで昔話に出てくるような昔ながらの茅葺き屋根の家、和田家と長瀬家を見学し、館主から茅葺き屋根の特徴などを説明していただきました。我々の住まいとは大きく違う合掌造りではありますが、地元住民はそこで変わらず生活していることを再認識しました。

旅を終えて、今回の目的地では参加費以上に少々予算がかかった内容となり、親御様には少しご負担をかけたと思いますが、他の小学校の親子とも交流ができたことで、とても充実した親子体験バスになったと思います。今後さらに工夫し、参加者に喜ばれる親子体験バスにしたいと思います。最後になりましたが、何事もなく無事終了できましたこと、参加者の方から心温まる感想文をたくさんいただきましたことを、企画しました当委員会メンバー全員が光栄に思っております。

…子どもの感想…

牧歌で馬に初めて乗るけど、馬に乗ったら楽しかった。牛では乳しぼりをしたり牛にえさをやって楽しかった。ひつじにはえさをやっていたら、ひつじが追いかけてきた。楽しかった。

今日は初めて親子体験バスツアーに参加してとても楽しかったです。牧歌の里の動物たちのふれあいが特に楽しかったです。

牧歌の里では、オルゴール作りや乗馬体験などが出来てすごく楽しかった。白川郷には、古い家がたくさんあって、昔の人はこんな家に住んでいたんだなと思いました。また行きたいです。

牧歌の里のうちわ作り、キーホルダー作り、キャンドル作りがきれいに仕上がって良かったです。また行きたいと思いました。

バスの中ではDVDや紙芝居をしてくれて、牧歌の里や白川郷では、サービスがたくさんあってとても楽しかったです。



さかなのつかみ取りが楽しかったです。ひつじのえさやりは怖かったです。初めて馬に乗ってうれしかったです。

…保護者の感想…

今日は、親子4人で参加出来、とても楽しい時間を過ごす事が出来ました。牧歌の里は、以前からどんな所か興味があったので、行けて良かったです。

一度、行ってみたかった「ひるがの高原」あんこちゃんの乳しぼりが感動!! 有名だけに行ったことがなかった「白川郷」行けて、良かったです。

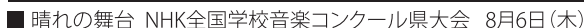
息子2人と楽しい1日を過ごせました。車中での絵本の読みかせやハンドベルでの演奏等楽しめました。

疲れ気味の私を助けて、おみやげの重い荷物を持ってくれるなど、やさしいところもみせてくれて、母として嬉しい反面、日頃さみしい思いをさせていることをごめんね、という気持ちも改めて感じました。2人の時間、よい思い出になりました。

子供と一緒に乳しぼりを体験したり、乗馬を楽しんだり、楽しい思い出になりました。白川郷では、子供に白川郷の歴史や合掌造りの構造を教えると、興味をもって話を聞いてくれたので、子供には良い勉強になったように思います。

子供達は馬に乗ったり、えさをやったりし、いい体験が出来たと思います。

歌声響け!!
誕生苗代小合唱団



苗代小学校では今春より、苗代小合唱団が誕生しました。

これまではクラスで合唱コンクールに出場していましたが、本年度は合唱の向上とコンクール入賞を目指し合唱団が結成されました。

4～6年生希望者43名の男女で構成され、3年生以下のジュニアも含めると52名にもなります。

毎日、指導教諭の元で昼休みに少しずつ練習を重ねています。

7月に講演会がありゲスト出演。緊張の中、見事デビューを飾りました。子供らしく澄んだ歌声に涙された方もいたのでは・・・と思います

目標にしていた「NHK全国学校音楽コンクール県大会」が8月に行われ小学校の部で



7月5日(日)

見事銀賞に輝きました。

今後は、「校区敬老会」“、”とどんな音楽祭“への出演が決まっています。

出演の機会があれば校区内外問わず歌声を届けるそうです。皆さんにお目に掛かる日もあると思います。

福祉施設には是非お勧めします。

6年生の田端さんは「合唱団は一生の思い出。みんなに感謝しています。コンクールも楽しんで参加できました。」とみんなで活動できた事を嬉しそうに話します。

松本校長は「合唱は児童の情操に深く関与する活動であり、コンクールはレベルアップの機会であってゴールではない。団員には音楽を表現するということの喜びを味わってほしい、聞いててくださる方には喜んでもらえる様に地域に根ざした活動を続けていきたい。」と抱負を語る。

今後の合唱団のさらなる活躍と子供達の成長を期待しています。

皆様も応援よろしく願います



■日時：8月21日(金)～22日(土)

参加した特別第二分科会は「地域と学校をつなぐPTAの役割」を研究課題とし、「日本の未来を担う人づくり」と題して、日本芸術文化振興会理事長の茂木 賢三郎氏による公演がありました。日本は経済大国で福祉大国であるが、人は不安感や閉塞感を感じている。自立し、生き抜く力を持つ人づくりの、課題と問題点を提言されていました。「自信を持って親の背中を見せられますか。」との問いに、自分自身考えさせられました。

編集後記

先般、全国学力調査の結果が公表されましたが、その中で毎日朝ご飯を食べている子、テレビやゲームに費やす時間が少ない子、或いは毎日決まった時間に寝起きする子の方が正答率が高い傾向にあるという報告がされていました。北陸3県は他県に比べ非常に成績優秀だったようですが、ということは北陸3県には、生活習慣がしっかりとっている子が多いということでしょうか？我が家でも正しい生活習慣を身につけねば・・・（S・N）

顧問 本村 与茂 茗荷谷 豊		会長 西出 稔 (板津中)		監事 三宮 誠(能美小) 大喜 一広(安宅中)		◎委員長 ○副委員長 ●校長
副会長 中田 浩大 (稚松小)	副会長 儀田 勝彦 (第一小)	副会長 長田 竜太 (丸内中)	会計 鹿田 稔夫 (串小)	副会長 佐藤 敦子(御幸中) 菅野 美伊(稚松小)	副会長 奥山 裕子(爲城小) 「石川県PTA連合会・副会長」 藤野 敦子(御幸中) 「石川県PTA連合会・家庭教育委員」	
総務委員会 湯口 治矢田野小 ●朝倉 康栄 (金野小校長)	広報委員会 葛西 正真 丸丸小 ●中川法次郎 (月津小校長)	新世代委員会 山岸 通次 稔松陽中 ●中出 幸平 (海中校長)	豊かな心育成委員会 山本 達 真也 粟津小 ●山岸 宏 (連代寺小校長)	母親委員会 片山 智巳 木場小 ●小中 清水 歌子(安宅中) 笑子 (那谷小校長)	特別委員会 吉村 範明 那谷小 中田 浩大 副会長 儀田 勝彦 副会長 長田 竜太 副会長 鹿田 稔夫(会計) 菅野 美伊 副会長 奥山 裕子(副会長) 藤野 敦子(副会長) 佐藤 敦子(副会長) 菅野 美伊(副会長)	事務局 宮野 由美 Tel 23-2478 Fax 23-0902